

**第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略
令和7年度実績及び効果検証報告書**

令和8年8月5日

福岡県新宮町

【はじめに】

Ⅰ 総合戦略の位置付け

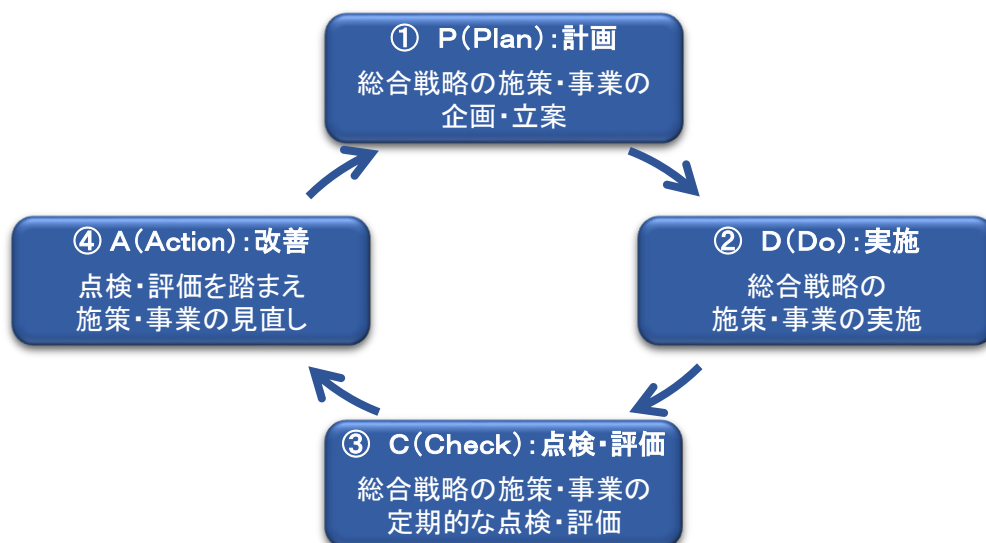
第2期新宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「新宮町総合戦略」という。）は、新宮町人口ビジョンにおいて提示する将来展望を踏まえ、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）第10条の規定により、新宮町における「しごとの創生」、「ひとの創生」、「まちの創生」に一体的に取り組むため、令和2（2020）年度を初年度とする今後5か年（令和6（2024）年度まで）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものとして策定しました。

令和7（2025）年度においては、現在の事業の進捗状況がコロナ禍からの回復期であり、取り組んでいる事業の継続性の観点から新宮町総合戦略の目標年度を1年間延長しました。

また、令和8（2026）年度からは、国が「地方創生2.0」基本構想で示す方針を踏まえ、地域の多様なステークホルダーや、地域の若者・女性を巻き込み、一緒になって地方創生2.0を推進するするとともに、「デジタル田園都市国家構想総合戦略（令和4年12月23日閣議決定）」を勘案した新宮町総合戦略を継承しながら、新宮町総合戦略と新宮町総合計画を一体化しています。

2 施策検証について

国の総合戦略における政策4分野ごとに設定した数値目標や国の各政策分野の具体的な施策ごとに客観的な重要業績評価指標（目標値）を基に、実施した施策・事業の効果を外部有識者などの参画により検証し、必要に応じて新宮町総合戦略の改訂を行うことにより、PDCAサイクルを確立し、適切な進行管理を行うこととしています。



3 内部評価基準

新宮町総合戦略の各主要施策を A から D の 4 段階に分けて内部的に評価を行いました。

評価項目	内容
A	施策内容を実施し、基本目標の進展に効果があったもの
B	施策内容を実施したが、基本目標の進展に効果が薄かったもの (関連性が薄いもの)
C	施策内容を実施できなかったもの
D	施策内容が不要となり、実施しなかったもの

【人口目標及び現状】

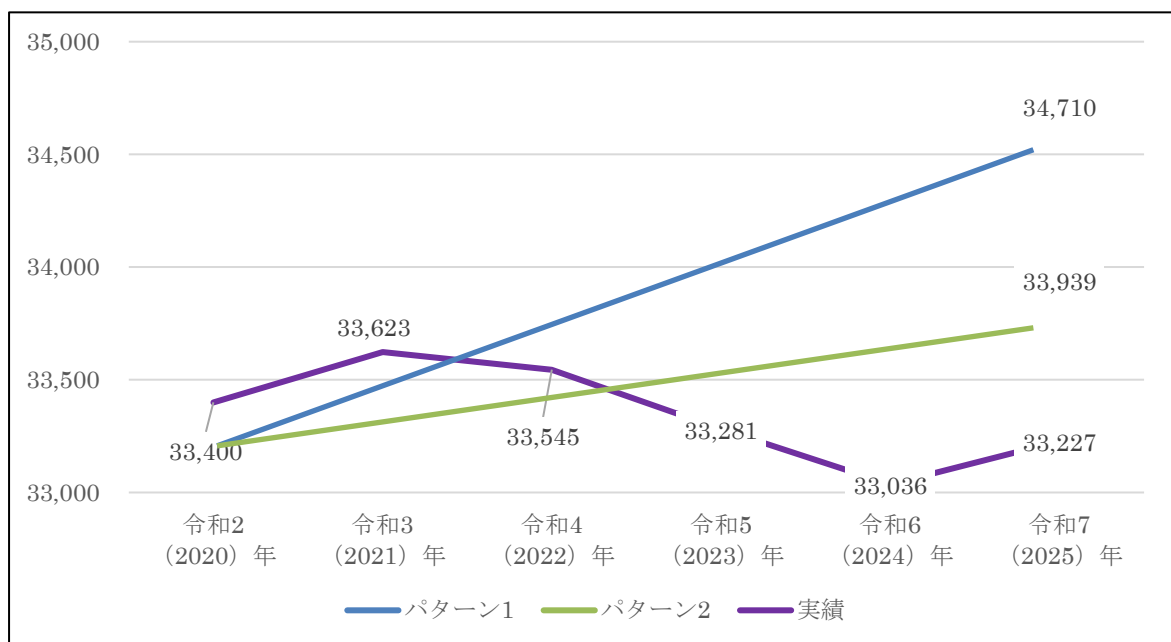
Ⅰ 人口目標について

第2期新宮町人口ビジョンは、将来にわたって活力ある地域社会を維持するために、出生率の向上と大幅な開発後も転入と転出が概ね均衡を保つよう各施策に取り組み、令和42（2060）年においても人口が32,000人を確保することを目標に令和2年3月に策定しました。

令和7年12月に改訂した第3期新宮町人口ビジョンでは、土地区画整理事業等の開発による転入増加などを見込み、改めて本町の人口分析を行い、令和42（2060）年の人口が33,000人を確保することを目標としています。

2 第2期新宮町人口ビジョンと人口実績の比較

図1 第2期新宮町人口ビジョンと人口実績の比較



※実績は年度末の3月31日時点の住民基本台帳の数値です。

第2期新宮町人口ビジョンでは、新宮町総合戦略の最終年度である令和7年3月末日の人口を34,710人（パターン1※）と33,939人（パターン2※）の2種類で推計していましたが、令和2（2020）年においては人口ビジョンのパターン1、パターン2よりも増加していましたが、令和7（2025）年においては、令和2（2020）年よりも減少し、パターン2よりも低位で推移し、実績としては33,227人とパターン1より1,483人、パターン2より712人下回りしました。

出生や死亡による自然増減と、転入や転出による社会増減について見ると、平成 31（2019）年時点は人口増加傾向にありましたが、新宮中央駅周辺の開発が落ち着いてからは、令和 4（2022）年時点では転入よりも転出が超過し、令和 6 年（2024）年には死亡が出生を上回る結果となり、人口減少傾向が見られるようになりました。

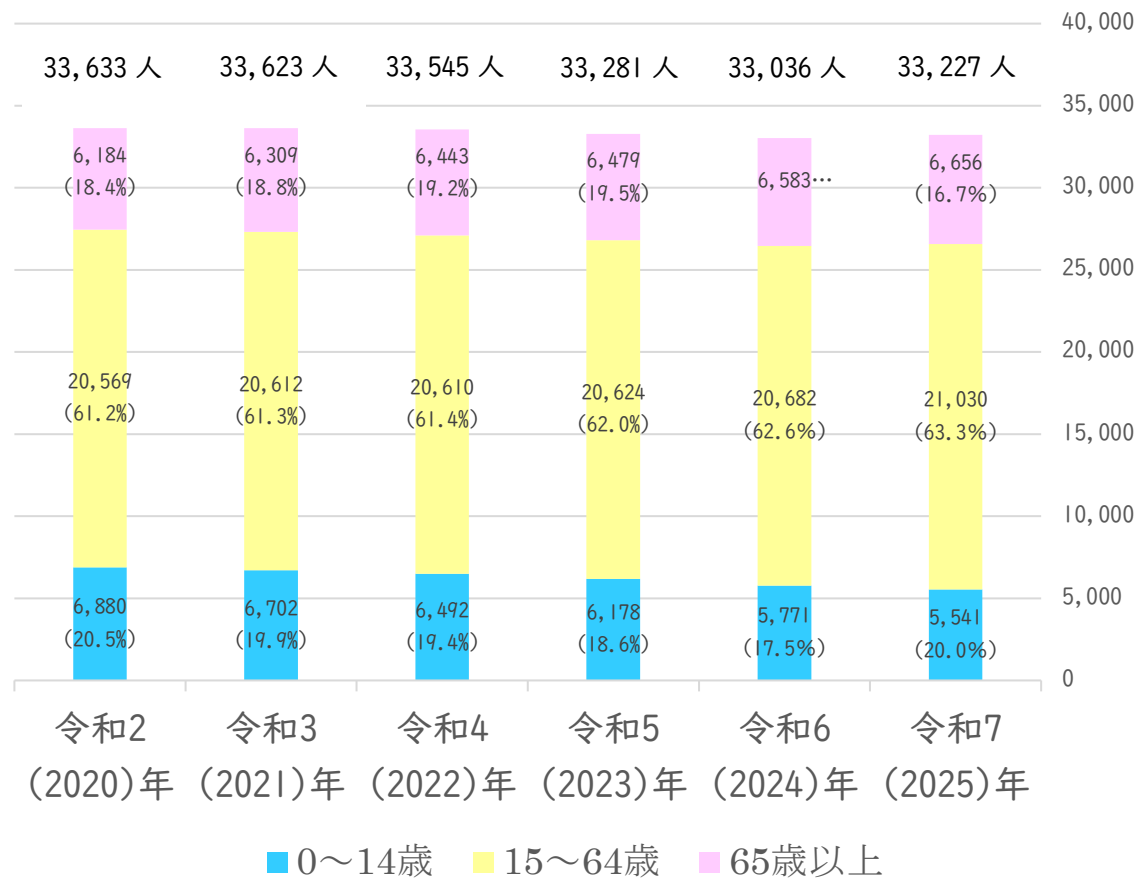
※：「パターン 1」は合計特殊出生率が平成 27(2015)年度の 1.80 から段階的に増加し、令和 22(2040)年までに人口置換水準 2.07 を達成しながら、開発に伴う転入超過傾向が維持される場合の想定。

※：「パターン 2」は合計特殊出生率が平成 27(2015)年度の 1.80 から段階的に増加し、令和 22(2040)年までに人口置換水準 2.07 を達成する一方、開発に伴う転入超過を見込まない場合の想定。

3 年齢 3 区分別人口の推移

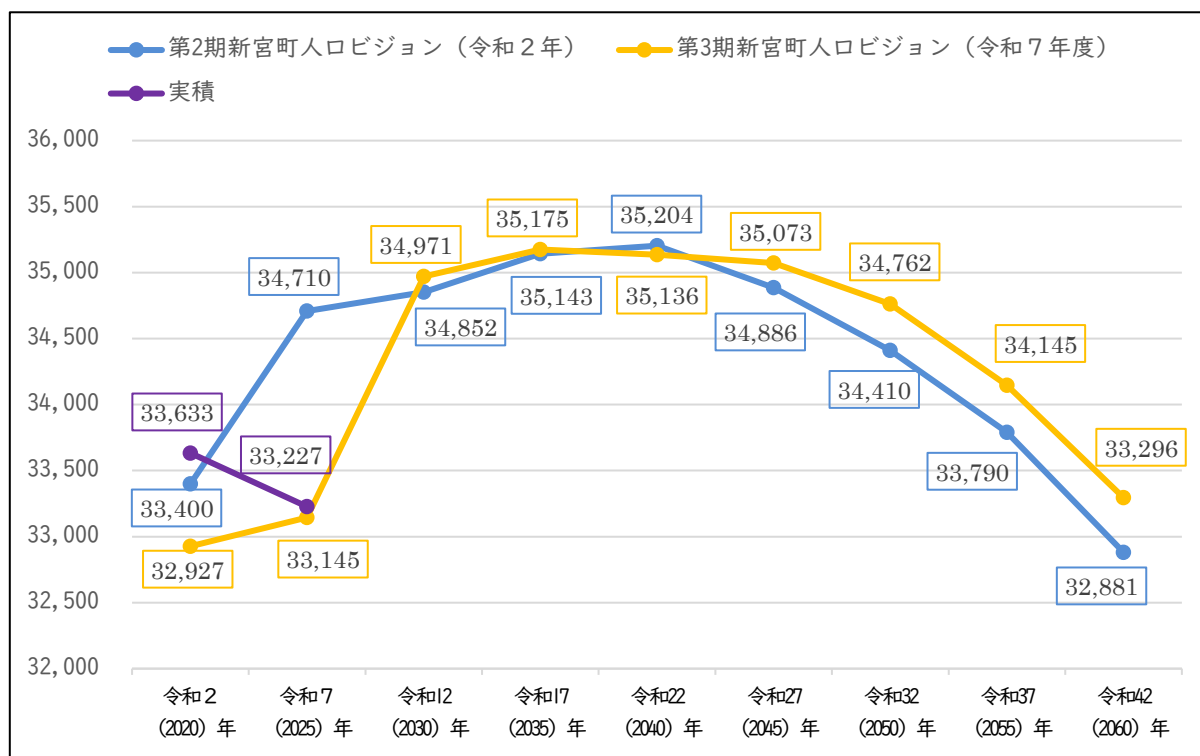
年齢区分	令和 2 (2020)年	令和 3 (2021)年	令和 4 (2022)年	令和 5 (2023) 年	令和 6 (2024) 年	令和 7 (2025) 年
	実績	実績	実績	実績	実績	実績
0～14 歳	6,880	6,702	6,492	6,178	5,771	5,541
15～64 歳	20,569	20,612	20,610	20,624	20,682	21,030
65 歳以上	6,184	6,309	6,443	6,479	6,583	6,656
合計	33,633	33,623	33,545	33,281	33,036	33,227
0～14 歳	20.5%	19.9%	19.4%	18.6%	17.5%	16.7%
15～64 歳	61.2%	61.3%	61.4%	62.0%	62.6%	63.3%
65 歳以上	18.4%	18.8%	19.2%	19.5%	19.9%	20.0%

年齢3区分別人口実績推移



4 第3期新宮町人口ビジョンとの比較

図2 第3期新宮町人口ビジョンと第2期新宮町人口ビジョン及び実績の比較



令和8（2026）年3月31日時点の住民基本台帳によると令和7（2025）年の実績は、33,227人となっています。

本町では今後、町のあらゆる資源を投入し、高い出生率と自然増を維持するとともに、労働環境の多様化に対応した環境整備、若年者の就職先となる企業誘致、スタートアップ支援、地域コミュニティへの参加、地域への愛着形成など、土地区画整理事業等が終了した後も社会増減を均衡に保つよう対策に取り組むことにより、第3期新宮町人口ビジョンにおいて令和42（2060）年に将来人口33,000人を確保することを目標としています。

【基本目標ごとの実績】

<基本目標Ⅰ>

地域にしごとをつくり安心して働けるようにし、これを支える人材を育て活かす

(方向性)

新宮町総合戦略では、立地条件や労働力などの強みを活かし、課題を克服することにより、新たな企業誘致を推進していくとともに、既存の企業や商店のPRや育成にも取り組んでいきます。

また、農林漁業については、豊かな自然資源と好立地を活かした販路の拡大や担い手の確保にも取り組んでいきます。

地域産業の育成・活性化により、町内に雇用を創出し、町外からの新たな人の流れを生み出すことで、「しごと」と「ひと」の好循環を創り、持続可能な「まち」の活性化を図っていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現状値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
町内事業 所数 (件)	1,155	1,250	1,282	1,327	1,378	1,421	1,462	1,510	1,200	1,500

(資料：市町村税課税状況等の調査 法人税納税義務者)

<基本目標 2>

地域への新しいひとの流れをつくる

(方向性)

地域ごとに異なる課題に対応するため、それぞれの特性を踏まえた施策を進めます。人口増加地域においても、将来的なＵＩＪターンにつながる地域への愛着の形成や地元就職などの促進、シティプロモーション活動を図っていきます。

人口減少地域においても、個別の現状を踏まえて定住化を図り、様々な世代や来訪者との交流の場づくりを含め、新しい人の流れを生み継続させる仕組みや環境づくりを検討し進めていきます。

さらに、観光客や来訪者に向けた周遊の仕組みなどを提供し、地域経済の活性化を図る取組を進めていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現状値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
平均日中 滞在人口 (人)	26,969	27,485	28,522	28,581	28,161	27,918	27,111 (修正)	25,265	28,800	28,800

(資料：地域経済分析システム)

<基本目標 3>

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる

(方向性)

若い世代の経済的安定を図るとともに、妊娠・出産・子育てに対する支援やこども・子育て支援の充実を図っていきます。また、家族が働きながら安心して妊娠・出産・子育てができるよう、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現を図ります。

また、外国人が地域へなじむことができるよう、多言語による支援や地域との橋渡しができる体制の構築を進めていきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現状値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
合計特殊 出生率 (%)	1.90	1.86	1.78	1.75	1.72	1.71	1.61	1.56	1.94	1.94

<基本目標4>

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

(方向性)

急速な人口増加により、都市構造が大幅に変化している中で、各地域の実情に沿った新しいコミュニティづくりを進めていくとともに、人口減少が進む地域においては、地域振興策の推進により、地域の魅力を高めていくことで、町民が将来にわたって安全・安心で豊かな生活を営むことができる町を構築していきます。

数値目標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現状値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
自治会加入 世帯率(%)	82.0	80.4	80.0	83.2	79.1	77.7	77.4	78.9	90.0	90.0

【基本目標ごとの施策】

内部評価

A

<基本目標Ⅰ>

地域にしごとをつくり安心して働けるようにし、これを支える人材を育て活かす

施策－Ⅰ 地域経済を牽引する企業誘致・育成に資する取組

(1) 令和7年度取組の概要

- ・土地区画整理事業を推進している下府地区及び三代地区については、順調に工事が進み、一部の区域では使用収益が開始されました。
- ・新宮スマートインターチェンジ（仮称）については、令和7年12月に事業化が決定し、計画予定周辺や県道筑紫野古賀線沿線の民間による開発計画の検討・準備が進みました。
- ・企業版ふるさと納税については、13社より合計1,100万円の寄附があり、新宮町まち・ひと・しごと創生推進事業に活用することができました。

(2) 新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

新宮スマートインターチェンジ（仮称）の事業化が決定されたことにより、都市計画変更が大きく進むことが予想され、施設誘致も大きく実現性が高まるが見込めます。また、下府土地区画整理事業及び三代土地区画整理事業については、地権者等による組合施行の開発であるため町主体で斡旋できる土地はありませんでしたが、土地区画整理事業の進捗状況、空き物件や空地の情報収集を行い、できる範囲で相談企業等に情報提供を行いました。

今後も、交通利便性など好立地の環境を活かして、流通業務施設、商業施設などの誘致や、地域を牽引する企業育成を進めていきます。

(3) 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現状値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
流通業誘致数 (件)	—	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (累積)	1 (累積)
商業施設誘致 数(件)	—	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (累積)	3 (累積)
その他企業の 誘致数(件)	—	—	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (累積)	1 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－２ 中小・個人事業者の生産性向上に資する取組

（１）令和７年度取組の概要

- ・新宮町おもてなし協会と連携して、ふるさと納税の返礼品として町内製品の販売拡大を目指し、町村フェアやスポーツ応援デーなど、様々な場で町の特産品のＰＲを実施しました。
- ・商工会の事業として、飲食店を盛り上げることを目的としたバル事業が新たに実施され、町から補助金交付による支援を行いました。

（２）新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

新宮町の町内事業所の活性化を図るため、商工会や新宮町おもてなし協会などと連携しながら、町内製品のＰＲや特産品の開発、創業塾などの事業を実施し活気あるまちづくりを推進しました。

今後も、町内事業所の活性化に取り組み、情報交換の場を充実させ、魅力づくりを研究していきます。

（３）目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現状値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
特産品開 発数（品）	－	－	5 (5)	7 (2)	9 (2)	10 (1)	18 (8)	18 (0)	5 (累積)	12 (累積)
販路拡大 の件数 (件)	－	－	1 (1)	3 (2)	6 (3)	7 (1)	7 (0)	7 (0)	10 (累積)	10 (累積)
情報交換 の場の創 設数（件）	－	－	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	4 (2)	6 (2)	5 (累積)	5 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－３ 創業や事業承継による地域産業の活性化に資する取組

（１）令和７年度取組の概要

- ・４町（粕屋町、篠栗町、久山町、新宮町）の行政と商工会で共同開催する創業塾に、町内から２５名が参加し、１４件の新規創業に繋がりました。
- ・町の地域資源を活用した特産品開発・改良・販路開拓を支援するため、特産品開発に係る経費を一部支援する補助金について検討を行い、令和８年度から実施することとなりました。

（２）新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

商工会や郡内他自治体、金融機関、事業承継支援機関などと連携し、町内中小企業の事業承継や創業塾による創業支援などの取組を実施しました。

地域経済の継続的な振興を行うため、商工会・金融機関などと連携して創業支援を行うとともに、新たな産業の活性化や、新たな働き方に合わせた環境を整備する必要があります。

（３）目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現状値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
新規創業 の数（件）	—	2 (2)	2 (0)	4 (2)	5 (1)	7 (2)	12 (5)	26 (14)	3 (累積)	7 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－４ 農業の振興、農商工連携等に資する取組

（１）令和７年度取組の概要

- ・農協と連携し、新宮町果樹部会で北九州市門司区にある「大日本産肥株式会社」及び行橋市にある「福岡県農業総合試験場豊前分場」への視察を実施しました。
- ・原上地区で農業経営基盤強化促進法に基づき、今後の農地のあり方を定めた地域計画を策定しました。

（２）新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

農業の振興については、省力化・高収益化の推進や地産地消の啓発を実施することができました。また、関係機関と協力して視察研修などを実施し、担い手である認定農業者や果樹部会などを支援しました。

今後は、認定農業者を始めとする担い手の確保や育成支援、新規就農希望者への情報提供を行うとともに、付加価値の高い特産品などの開発を支援していきます。

（３）目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現状値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
認定農業者数（人）	21	22	22	22	22	21	20	19	23	23
体験農園の数（箇所）	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5
ふるさと納税の返礼品における農作物の売上高（千円）	270,000	311,000	411,700	392,463	484,413	479,424	262,301	98,871	300,000	479,000
ひとまるの里の売上高（千円）	253,087	248,049	267,105	244,835	228,253	229,739	228,169	234,609	255,000	255,000
農業法人の耕作面積（㍖）	0	0	19	19	41	28	28	28	40	40
有害鳥獣被害額（千円）	9,750	8,760	9,072	8,693	7,475	8,205	5,300	6,320	8,000	8,000

施策－５ 水産業の振興、農商工連携等に資する取組

（１）令和７年度取組の概要

- ・福岡県水産海洋技術センターと連携し、アコヤ貝殻を活用した漁礁の導入について検討しました。
- ・令和６年度に導入した急速冷凍機、真空包装機を活用し、相島海幸棒ずしの販路拡大のためＥＣ販売を実施しました。
- ・国庫等補助事業を活用し、ガンガゼ駆除による藻場保全活動や、アカウニやクロアワビの種苗放流による漁場の再生活動を継続して行いました。また、いけま売りなどのイベントで、共同販売に対する支援を行いました。
- ・鮮魚流通拠点施設整備事業を支援するため、補助要綱を整備し、漁協が発注した設計業務委託に対して補助金を交付しました。
- ・令和６年度の取り組みがきっかけとなり、１名の方が新たに漁業就業を希望され、漁協関係者などとの協議の結果、令和８年度より研修生として漁業に携わることが決まりました。

（２）新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

水産業の振興については、相島の鮮魚の販売促進、漁業経営の安定化を目的とした鮮魚流通拠点施設整備事業を支援するため、関係機関との協議を重ね、事業実施が決定しました。また、国や県の補助金を活用して新規漁業者の育成を支援しました。

今後も、国や県の補助金を活用して地元漁業に即した生産基盤の整備、高付加価値化の取組として新商品開発や販路拡大の支援を行っていきます。

（３）目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現状値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
漁業従事者の所得 (万円)	160	170	213	272	176	274	261	156	180	180
新規販路数(件)	－	－	1	0	0	0	0	1	2	2

<基本目標 2>

内部評価

A

地域への新しいひとの流れをつくる

施策－Ⅰ 将来的な UIJ ターンや地元の就業の促進に資する取組

(1) 令和7年度取組の概要

- ・新宮町おもてなし協会と連携して、交流拠点であるこみんかみかんで季節限定商品の販売や、町内事業者の農作物や加工品などの販売を行いました。また、オルレを始めとするウォーキングイベントや、こども向け体験イベント、親子向けイベントなどを実施し、体験事業や交流イベントの拡充を図りました。
- ・町広報誌やホームページだけでなく、フリーペーパー紙やテレビ局と連携し、積極的な町の魅力発信に取り組みました。また、新宮町合併70周年記念として、KBCやNHKと連携しイベントやPRを実施しました。
- ・ふくおか離島物産展、福岡町村フェア、アビスパ福岡連携事業、ライジングゼファー福岡連携事業において、町内産品や観光PRを実施しました。また観光情報誌の更新を実施しました。

(2) 新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

新宮町の愛着醸成に向けたふるさと教育を充実するとともに、地域資源を有効に活用するため新宮町おもてなし協会などと連携して様々なイベント事業を実施しました。

町の魅力を発信し、関係人口を創出するとともに、新宮町にある地域資源を活用しながら、郷土への愛着醸成や交流人口の拡大を図り、移住・定住を促進していく必要があります。

(3) 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現状値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
シティプロ モーション 実施数（累 計・件）	4	4 (4)	8 (4)	15 (7)	23 (8)	31 (8)	42 (11)	51 (9)	20 (累積)	40 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－２ 関係人口づくりや、地方創生を担う人材・組織の確保に資する取組

（１）令和７年度取組の概要

- ・おもてなし協会に委託している「新宮劇場」やこども向けの体験イベント「しんぐう観光キッズ」、「新宮マルシェ」に町内外からの参加がありました。また、相島ドリームワークス主催の「相島！春フェスタ」にも町内外から多くの来訪者があり、地域資源の掘り起こし、町の魅力発信に繋がりました。
- ・相島で活動する２名の協力隊員（観光振興１名、診療所看護師１名）を継続して任用し、各種団体と協力しながら、相島の観光振興、医療体制の整備などそれぞれの取組を実施しました。

（２）新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

新宮町おもてなし協会を中心に、関係機関と連携して、多様な媒体を活用して観光情報の提供・発信に取り組みました。

関係人口を増やすため、新宮町を訪れる価値のあるまちとしてPRすることに加え、滞在時間の延長や消費活動の促進に繋がる体験メニューの充実や交通事業者と連携した誘客活動などに取り組んでいます。

（３）目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現状値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
体験型イベント参加者数 (人／年)	1,088	1,978	－※	－※	323	891	1,179	1,056	1,150	1,150
地域おこし協力隊人数 (人)	4	4	5	5	4	1	3	2	4	4

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「－」で表記。

施策－３ 町内の人口減少地域(相島を除く)での定住促進や環境整備に資する取組

(１) 令和７年度取組の概要

- ・東京のふくおかよかここ移住相談センターで町勢要覧や観光パンフレットの配布、県の移住ポータルサイト「福がお～からし」で町の情報発信を行いました。また、福岡都市圏事業の一環として糟屋地区共同で町内の飲食店を「シティ情報ふくおか」に掲載し、かすや特集の別冊版を発行しました。
- ・地域事業者の協力のもと、こみんかみかんにて新たに「お試し物産販売」を実施しました。実施期間中の来場者数が前年同時期の約３倍に達し、効果的な取組みを実施することができました。
- ・空き家の利用については、現状では町が直接空き家の利用斡旋等の取り組みを行っていないため、県が実施している福岡県空き家活用サポートセンター「イエカツ」を活用し、空き家に関する情報収集・発信に努めました。

(２) 新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

幅広い世代の定住化に向けた各種制度等の構築までは至りませんでした。県やその関係機関を通して町のPRを行ってきました。

また、観光交流拠点であるこみんかみかんにおいて、観光客や交流人口の増加を図るため、試験的に催し物や物産販売を実施したほか、地域住民と協議しながら、観光交流拠点施設が目指す場所について再確認することができました。

今後は、幅広い世代の定住化に向けた仕組みや環境づくりに取り組むとともに、交流拠点の整備など地域の実情を踏まえた活性化や賑わいづくりの取組を進めます。

(３) 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
古民家交流 拠点来場者 数(人/年)	—	—	—	3,484	3,354	3,776	4,812	5,860	1,000	4,000
空き家の 利用件 (件)	—	—	—	0	0	0	0	0	2	2

施策－４ 相島における定住促進や環境整備に資する取組

(１) 令和７年度取組の概要

- ・相島の空き家バンクについては、新規登録が３件、マッチングが１件ありました。
なお、令和７年度末の登録件数は１０件となっています。
- ・お試し宿泊施設「stay house 嶋（かし）」においては、１２０日の稼働で３２２人の利用がありました。
- ・漁村留学においては、小学生１４名、中学生９名を受け入れました。

(２) 新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

相島の空き家バンク登録件数増加に繋がる情報収集を進め、移住希望者へのマッチングを行ってきました。今後も空き家バンク登録件数増加と活用に関わるよう、島民の方に制度の周知を継続し、情報収集を進めていきます。

また、お試し宿泊施設の稼働率も高く、移住を視野に入れた宿泊客もあり、移住・定住に一役買っています。今後も施設の継続ができるよう運営を支援していきます。

(３) 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
空き家バン クマッチン グ件数 (件)	—	—	0 (0)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	6 (3)	7 (1)	5	5

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－５ 観光振興に資する取組

(１) 令和７年度取組の概要

- ・相島における観光客の受入環境整備について検討を行い、令和８年度に相島公衆トイレの改修を実施することとなりました。
- ・福岡県離島振興協議会の事業として、離島の魅力発信のため、県内８つの離島を対象とした「ふくおか離島フォトコンテスト」を開催し、８島全体４６４作品のうち、相島で１４３作品の応募がありました。
- ・横大路家住宅については、前回保存修理から２４年が経過し、茅葺屋根、土壁、防災設備は再整備が必要な時期となっているため、国・県・公益財団法人文化財建造物保存技術協会と協議を行い、保存修理実施に向けての準備に着手しました。
- ・福岡都市圏糟屋地区共同事業において、「シティ情報ふくおか」に糟屋地区の飲食店を掲載し、かすや特集の別冊版を刊行しました。

(２) 新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

新宮町おもてなし協会を中心に商工会、農協、漁協などの関係機関と連携して、観光ＰＲを推進してきました。

新宮町の観光産業全体の活性化に当たっては、新宮町を訪れる価値のあるまちとしてＰＲすることに加え、観光客の滞在時間の延長や消費活動の促進に繋がるイベントの実施など、関係機関と連携した総合的な観光振興施策を展開することが必要です。

(３) 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
観光ガイド登録者数（人）	0	0	0	0	1	0	0	0	5	5
多言語案内実施箇所数（箇所）	2	2	2	4	0	1	7	2	3	3
観光イベント 広域連携数 (件)	4	2	2	3	3	2	6	5	6	6
体験型イベント実施事業所 (所)	20	13	—※	—※	4	4	9	3	25	25
宿泊施設数 (件)	2	3	3	3	2	2	2	2	4	4

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「—」で表記。

<基本目標3>

結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会をつくる

施策－Ⅰ 結婚に資する取組

(1) 令和7年度取組の概要

- ・福岡県離島振興協議会の事業として、離島地域で進んでいる高齢化や人口減少問題の対策を目的に、「福岡県出会い・結婚応援事業」を活用し、離島の独身男性を対象とした出会いイベント「島コン」を1回開催し、情報の発信を行いました。相島からの参加者はいませんでした。

(2) 新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

町単独では結婚を望む人たちに出会いに関する場や情報を提供する企画立案が難しく効果が期待できないため、「福岡県出会い・結婚応援事業」の事業の活用や、広域連携の取組として実施できるよう働きかける必要があります。

(3) 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	現在値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
出会いの 場支援件 数(件)	1	2 (2)	3 (1)	5 (2)	7 (2)	8 (1)	11 (3)	12 (1)	3 (累積)	15 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－２ 健やかな子育て支援に資する取組

(１) 令和７年度取組の概要

- ・ プレパパママ＆先輩パパママ交流会などの事業を実施し、合計 23 回延べ 183 人の参加がありました。
- ・ 妊娠届出時に共通の支援判断指標を用いて支援の必要性の判断を行い、地区担当が主となり継続支援を行いました。支援困難ケースについては、ケース会議を実施し、虐待リスク者については、児童福祉の要対協担当と連携して支援を行っています。
- ・ かんがるーひろばについては、令和７年度は母子保健事業などで普段利用しているシーオーレ新宮で出張ひろばを月 1 回実施することで、より利用しやすい環境を整えました。

(２) 新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

妊娠から乳児期の親の負担軽減を図るため、安心して出産し、子育てができるよう、産前・産後の各種教室や産後ケア事業を実施し、妊婦、乳児の健康状態の把握や必要な相談・指導を行うことができる体制整備に取り組んできました。

一方で、支援に関して行政介入を拒否するケースや発達面に心配や不安があることなどが増加傾向にあることなどが課題となっています。

(３) 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
乳幼児健診 未受診児の フォロー率 (%)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
かんがるー ひろば利用 者数(人)	15,472	14,344	4,677	3,254	6,174	7,981	10,230	12,308	14,000	14,000

施策－３ 子育て支援に資する取組

(１) 令和７年度取組の概要

- ・ 令和７年度より家事・子育て等に対して不安や負担を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭の居宅を、訪問支援員が訪問し、家事・子育て等の支援を実施する「子育て世帯訪問支援事業」を実施しました。
- ・ 不登校・ひきこもり児童に対する施策として、児童とその家族に対して臨床心理士または医師による相談事業、不登校・ひきこもり児童の親の会の開催、講演会実施などの事業を令和７年度から開始しました。
- ・ 保護者の就労支援と児童福祉の増進として、保育所の延長保育や障がい児保育の充実を図るため、延長保育・障がい児保育を継続して実施しました。また、令和７年度より認定こども園において医療的ケア児の受入れを開始しました。
- ・ 子育てに関する情報提供や各種教室・面談などのオンライン予約、予防接種ＡＩスケジュールなどＩＣＴを活用した継続的なサポートが行える子育て支援アプリ「ぐーまっち！」の登録者数は１,１６０人を超えました。
- ・ 児童虐待予防・早期発見のために、児童福祉の要保護児童対策協議会担当や児童相談所、警察、学校と連携して情報共有・支援を行うとともに、福祉センター、シーオーレ新宮、町内小学校（４校）に横断幕を設置し、町内の保育園等３６ヶ所に啓発のぼり旗、ポスターを設置しました。また、小中学校の児童には啓発物品として、下じきの配布、公共施設等の窓口で、ウェットティッシュ・花の種を配布しました。

(２) 新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

子育て支援充実のため、延長保育や障がい児保育等の事業について補助金等による支援の実施や、医療的ケア児の受け入れのために看護師を配置した特定教育・保育施設に対し配置に要した費用について補助を実施するなど、保育環境の充実を図りました。

一方で、年度当初の保育所待機児童は０人となっていますが、保育士不足が原因で年度途中の受け入れができなかったことで待機児童が発生しています。そのため、保育士の確保が課題となっています。

(３) 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
ファミリー サポート会 員数（人）	260	329	320	317	319	357	352	336	330	380
保育所待機児 童数（人）	35	21	43	18	0	0	0	0	0	0

施策－４ 義務教育期間の子育て支援に資する取組

（１）令和７年度取組の概要

- ・通学路について、「通学路交通安全プログラム」に基づき通学路の改善整備を進めるため、通学路安全推進会議を開催し、関係機関と現地調査を実施し、危険箇所の現状と今後の整備方針等について情報を共有し、道路標識や道路反射鏡新設を行い、着実に危険箇所の改善・整備を進めました。
- ・こども体験クラブを４回実施し、町内の歴史探索や宿泊を伴う野外活動などを通して、町内に住むこどもたちの交流を深めることができました。
- ・ジュニアリーダーの活動について、子どもリーダー研修会でリーダーシップを発揮しつつ、新宮町クリーン作戦やスポーツ交流会、地域寺子屋への参加など、年間を通して活動を行うことができました。

（２）新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

教育・学童保育に関する保護者のニーズを的確に把握しながら、教育・学童保育環境の向上を図るため、地域と協力し、地域寺子屋事業や通学合宿の実施を支援しました。さらに、青少年指導員を中心とした定期的な夜間巡回や見守りボランティアによる登下校時の見守り活動などの実施により、こどもたちの非行防止や安全確保に成果がありました。

（３）目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
通学合宿実施 箇所数（箇所）	6	6	－※	－※	2	5	4	5	8	8
ジュニアリー ダー等活動回 数（回）	12	12	1	4	12	12	12	13	15	15
学童保育所待 機児童数 （人）	57	53	45	5	52	43	19	27	0	0
就学援助支給 基準（倍） ※生活保護基準を ベースとする	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「－」で表記。

施策－５ 男女、多文化な人材がともに参画し支え合う環境づくりに資する取組

(１) 令和７年度取組の概要

- ・人権フェスティバルで啓発物品及び啓発冊子を配布したほか、男女共同参画週間において、役場に懸垂幕、ＪＲ新宮中央駅自由通路に横断幕を設置、町広報誌に男女共同参画推進計画を掲載し、啓発を行いました。
- ・年間を通してプレママパパ＆先輩ママパパ交流会とハロー！ベビークラスを実施し、合計 101 人（うち男性 47 人）の参加がありました。
- ・障がい者が就労しやすい環境づくりの支援として、福津市・古賀市・新宮町障がい者地域支援ネットワーク協議会の就労支援部会で、異業種交流会やセミナーなどを行いました。また、10 月から新たな福祉サービス（就労選択支援）が開始されることに伴い、関係機関、特別支援学校などと勉強会を実施し、情報交換や連携強化を図りました。

(２) 新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

近年は父親の育児休業取得が増加傾向であるなど、育児は夫婦で協力して行うという機運が高まっており、新宮町でも父親向けの講座などを実施したところ、男性の利用者が増加しています。

今後も引き続き、男女、多文化な人材がともに参画し支え合い、働く人々が仕事と家庭の両立ができる環境づくりを支援していきます。

(３) 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
町内企業への男女共同参画啓発件 (件)	2	—	0 (0)	0 (0)	3 (3)	5 (2)	5 (0)	8 (3)	7 (累積)	9 (累積)
町民への男女共同参画啓発件数 (件／年)	0	—	2	3	5	4	4	3	1	2
男性のパパママ教室参加者数 (人)	48	36	32	39	51	48	44	48	55	60

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

<基本目標4>

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

施策－Ⅰ 高齢者の就労や活動参画など生涯活躍に資する取組

(1) 令和7年度取組の概要

- ・就業機会の提供により、高齢者自身の生きがいや生活の充実、地域貢献の活性化を図ることを目的としている新宮町シルバー人材センターに対して助成金を交付しました。また、町広報誌にシルバー人材センターに関する記事の掲載や、65歳到達時の介護保険被保険者証交付会の資料郵送と併せてシルバー人材センターへの加入を促すチラシを配布するなど、加入促進を図る取り組みを行いました。
- ・行政区からの要望に応じて、14行政区の地域健康教室に講師の派遣を62回行ったほか、介護予防に資する活動に取り組むために組織された住民主体の団体24団体に対して、地域介護予防活動助成金による助成を行いました。

(2) 新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、介護予防や健康づくりに関する支援の実施や、高齢者の社会参加を促進することで、生きがいを持ちつつ生涯現役を目指してもらうことができました。

高齢者がいきいきと活躍し、ともに支え合い、安心して暮らせるまちづくりを実現するために、社会参加や介護予防・栄養管理などの普及啓発など、継続して支援していく必要があります。

(3) 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
シルバー人材センター 会員稼働率 (%)	100	90	90	93	92	88	80	79	100	100
介護予防活 動の参加人 数(人)	943	924	518	455	461	666	574	576	1,000	1,000

施策－２ スポーツ等の健康まちづくりに資する取組

(１) 令和７年度取組の概要

- ・ アビスパ福岡フレンドリータウン応援デー、ライジングゼファーク福岡応援デーをジュニアスポーツ団体や町内学校の部活動と連携して行いました。また、令和７年度は新たに女子バレーボールチームの福岡ギラソールとも協定を結びました。
- ・ スポーツ推進委員と連携し、いきいき運動・健康フェスタやヘルシーウォークにおいて、モルックやグラウンドゴルフの体験会を行い、誰もが安全に楽しめるスポーツを楽しむ環境づくりを推進しました。
- ・ スポーツ振興くじ助成金を活用し、杜の宮テニスコートの人工芝全面張替を行いました。

(２) 新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

町スポーツ協会や町スポーツ推進委員などの関係団体と連携して、軽スポーツ等の普及促進や、ジュニアスポーツ団体指導者や保護者を対象とした指導者研修会を毎年実施し、スポーツ環境の充実に努めました。

しかし、ヘルシーウォークの参加者減少やスポーツ活動と連動した健康づくり事業の不足など課題が残りました。

(３) 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
プロスポーツチーム連携事業数 (件)	－	－	1	1	1	2	2	3	3	3
ウォーキングイベントの参加者数 (人)	471	470	－※	－※	281	309	285	248	500	500

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「－」で表記。

施策－３ 防災・防犯等の安心して暮らせるまちづくりに資する取組

(１) 令和７年度取組の概要

- ・消防活動の充実を図るため、消防用ホース等の消防資機材の更新やホース乾燥塔等の改修を実施しました。また、新入団員確保のために毎年まつり新宮会場で団員加入促進啓発活動を実施していましたが、令和７年度はまつり新宮が中止となったため、実施できませんでした。なお、消防団広報誌は令和７年度も全戸配布し、消防団の活動や必要性を周知しました。
- ・住民の防災意識向上のため、防災専門官による防災講話を実施し、自助・共助の啓発を行いました。その中で自主防災組織の必要性を説明したことで、令和７年７月に１行政区において自主防災組織が設立しました。
- ・夜白１区内の事故が多発している交差点に新規でカラー舗装工事を行ったほか、新宮区と上府区の交差点のカラー舗装の塗り直し、的野区内の歩道のない町道の路肩を安全に歩行できるよう緑の塗装の塗り直しを行いました。

(２) 新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

近年は、新宮町だけでなく、全国的に大雨や台風などによる自然災害が多発しています。災害に強いまちづくりを行うため、地域防災計画やハザードマップの適宜見直しを実施したほか、国、県、消防、自衛隊、警察などの関係機関と連携した体制の構築を図りました。

また、新宮町の消防団を支援するため、消防資機材の計画的な整備・改修を行うとともに、消防団の必要性や活動をアピールし、団員の確保に取り組む必要があります。

防犯については、町内の防犯灯のＬＥＤ化推進のほか、防犯専門官を中心に地域の自主防犯団体や交通安全指導員、警察と連携し、防犯・交通安全の教育、啓発を推進することができました。

(３) 目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
自主防災 組織の数 (団体)	7	7	8	11	12	12	12	13	12	14
消防団員 数(人)	238	238	239	240	226	223	228	222	246	246
自主防犯団 体の組織数 (団体)	3	3	3	3	3	4	4	4	6	6

施策－４ 地域コミュニティの維持や、まちづくり活動の活性化に資する取組

今後のまちづくりを進めるに当たり、新興住宅地区や高齢化の進む地区などの地域の特性を踏まえたコミュニティの在り方について検討し取り組んでいきます。

（１）令和７年度取組の概要

- ・まちづくり活動支援団体に２団体が新規登録されましたが、活動終了団体が４件あり、団体数は２１件に減少しました。
- ・相島の史跡をめぐる文化財ウォークは、天候不良により開催日を変更して実施し１３名の参加がありました。
- ・町主催の協働のまちづくり研修の実施はできませんでしたが、行政懇談会の実施や区長会管外研修等を通じて、まちづくり活動活性化の意見交換を行いました。

（２）新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

地域コミュニティの維持やまちづくり活動の活性化のため、住民、住民活動団体、企業、行政がそれぞれの主体性と自主性を尊重しあいながら、地域や公共の担い手として協働する、パートナーシップによる住民参加型のまちづくりを進めてきました。

今後は、関係各所と連携を深めながら、地域に関わることのできる主体を増やす取組を推進し、各主体が役割を持って共に地域をつくる体制づくりを推進していきます。

（３）目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
まちづくり 活動支援団 体登録数 (団体)	23	20	21	20	21	22	23	21	30	30
協働のまち づくり研修 参加人数 (人)	103	123	－※	－※	0	0	0	0	150	150

※新型コロナウイルス感染症により中止したため「－」で表記。

施策－５ 自然環境の保全やＳＤＧｓ等の持続可能な社会づくりに資する取組

（１）令和７年度取組の概要

- ・ ６年ぶりに新宮町クリーン作戦を開催し、一般参加者を含め 1,642 人、48 団体の参加がありました。また、企業、ボランティア団体など 11 団体が合計 27 回清掃活動を実施し、その際に、袋の支給やごみの回収を行うなどの支援を行いました。このほか、県の事業である「福岡県みんなでスポGOMI！In 新宮海岸」が実施され、155 人、47 団体の参加がありました。
- ・ 新宮海岸の松林を保全するため、筑前新宮に白砂青松を取り戻す会と協力して、楯の松原保全活動を全 7 回計画し、6 回実施しました。町職員による保全活動が荒天のため中止となりましたが、新宮中学校、新宮高校、福岡工業大学等と連携して、楯の松原保全活動を行うことができました。
- ・ 森林の持つ公益的機能を十分に発揮させるため、国からの森林環境譲与税を活用して、荒廃した竹林の整備を実施しました。また、県の荒廃森林整備事業を活用し、原上区、立花口区、的野区内にある 15 年以上整備されていないスギ・ヒノキ林に対して森林の荒廃を防ぐための整備を実施しました。

（２）新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

地域住民、関係団体、行政などの協働による保全活動を積極的に推進していくとともに、自然環境を活用した環境整備を推進するため、第 2 次新宮町環境基本計画に基づき、環境の保全および創造に関する施策を、計画通りに推進していくために関係機関とのさらなる連携が必要です。

（３）目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
新宮町クリーン作戦参加者数（人）	2,200	1,900	130	220	260	90	220	1,642	2,400	2,400
松林保全活動参加者数（人）	833	752	107	184	468	299	481	403	840	840
森林整備面積（ha）	46.1	14.3 (14.3)	25.4 (11.1)	32.6 (7.2)	40.1 (7.5)	45.4 (5.3)	55.8 (10.4)	57.3 (1.5)	130 (累積)	135 (累積)
SDGs 啓発回数（件）	—	—	4 (4)	5 (1)	8 (3)	12 (4)	17 (5)	20 (3)	5 (累積)	16 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。

施策－６ 地域交通等のインフラの維持や最適化に資する取組

（１）令和７年度取組の概要

- ・コミュニティバス事業においては、コミュニティバス運行協議会、地域公共交通会議、地域公共交通活性化協議会をそれぞれ１回開催し、渡船事業においては、運営委員会を１回開催し、意見交換や事業に対する要望聞き取りを行いました。
- ・西鉄貝塚線の利用促進のため、令和７年度から始まった九州オルレ「新宮・相島コース」の出発地点として西鉄新宮駅が設定されました。なお、先に始まっていた「新宮・立花コース」の出発地点も同じく西鉄新宮駅が設定されています。
- ・高齢者運転免許証の自主返納事業では、４９件の支援を行いました。

（２）新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

利用者ニーズを踏まえて、渡船やコミュニティバスの路線変更・ダイヤ改正の実施やキャッシュレス決済の導入、多言語表記による案内の実施等の取組により利便性の向上を図ることができました。

地域交通等のインフラ維持や最適化のため、今後も、必要に応じた運行時刻の見直しや多言語案内、既存以外のキャッシュレス決済方法の導入を検討し、サービス、利便性向上による利用促進、地域の公共交通の充実を図ります。

（３）目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
案内表示の多 言語化実施件 数（件）	－	－	3	3	4	2	7	5	10	10
西鉄新宮駅 乗降客数 (人／日)	1,422	1,428	1,172	1,222	1,364	1,464	1,603	1,874	1,600	1,600

施策－７ 地域におけるＳｏｃｉｅｔｙ ５．０の推進に資する取組

（１）令和７年度取組の概要

- ・業務効率化、職員の負担軽減のため、議事録システム、キャッシュレス決済、窓口支援システムを導入しました。
- ・あいおいニッセイ同和損保株式会社と連携して、センサーとアプリを利用した「新宮町エコドライブ・安全運転コンテスト」を実施しました。
- ・地域×Ｔｅｃｈ※などの先進技術の展示会や庁内での複数企業によるデモ会を開催し、職員のＤＸにかかる意識の醸成を行いました。

※自治体が抱える地域の課題に対して、解決の糸口となるような企業のサービス・テクノロジーを実際に体験する専門展

（２）新宮町総合戦略の施策の成果・課題・考察

産業構造の変化に柔軟に対応できるよう、本町の産業への情報提供などを進めるとともに、行政の機能もＩＣＴを利活用して、業務の効率化や、住民の利便性向上に取り組んできました。

引き続き、新たなサービスなどに対応出来るよう取り組みつつ、利便性のある仕組みの導入などを進めていきます。

（３）目標値の現状

成果指標	基準値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	実績値 (R6)	現在値 (R7)	当初 目標値 (R6)	延長 目標値 (R7)
オープンデータデータセット数（件）	4	4	4	5	5	5	5	5	10	10
未来技術活用事例件数（件）	—	—	1 (1)	4 (3)	4 (0)	5 (1)	6 (1)	9 (3)	5 (累積)	5 (累積)

※実績値・現在値の上段は累積値、下段は単年度実績値。